

Press Release

報道関係各位

2024年6月4日
公益財団法人日本デザイン振興会

「デザイン白書 2024」を公開

各都道府県や企業、行政などのデザインに関する多様な取り組みを紹介

デザイン白書 2024 掲載ウェブページ：<https://www.jidp.or.jp/2024/06/04/wpd2024>



公益財団法人日本デザイン振興会（所在地：東京都港区）は、「デザイン白書 2024（WHITE PAPER ON DESIGN 2024）」を本日より公開しました。

デザイン白書 2024 は、2018 年に経済産業省と特許庁が『「デザイン経営」宣言』を発表して以降、活用が進むデザインに関する日本国内の地域や企業、行政などの取り組みを網羅的に取りまとめたものです。本白書により、企業や行政、地域の人々が多様なデザインの取り組みを知り、デザインの意義や効果を深く理解することで、日本国内におけるデザイン活用がより一層高まることを目指しています。

<背景・経緯>

経済産業省と特許庁は 2018 年に『「デザイン経営」宣言』を発表し、日本の産業競争力強化のために、デザインを企業価値向上のための重要な経営資源として活用する「デザイン経営」を推進することを提言しました。その後、大企業や中小企業、スタートアップ、官公庁などでデザインの活用が進み、経済産業省デザイン政策室はデザイン活用をさらに拡大するために、2023 年に「これからのデザイン政策を考える研究会」を開催しました。研究会では、2023 年度・2024 年度グッドデザイン賞審査委員長の齋藤精一氏が座長を務め、当会からは深野弘行理事長、柴田文江理事、田川欣哉理事が委員を務めました。

デザイン先進国といわれる国では、国や自治体の政策、企業経営にデザインを積極的に導入・活用しており、デザイン活用の司令塔である「デザインカウンスル」が、調査研究レポート等を通じて社会の至るところにデザインを浸透させています。上記研究会では、日本のデザイン振興の大きな課題として、「国内の最新のデザイン動向を網羅的に取りまとめ、デザイン活用の効果等を継続的に調査し、戦略的に社会に対して発信する機能」の不在が指摘され、この機能を強化すべく本白書の制作を進めてまいりました。

<概要・特徴>

デザイン白書 2024 は、株式会社三菱総合研究所 DESIGN×CREATIVE TEAM、株式会社アクシス、一般社団法人デザインシップ、その他 200 名を超える有識者の方々の協力のもと、公益財団法人日本デザイン振興会から発行するものです。

日本の地域や企業、行政などのデザインに関する多様な取り組みや動向について幅広く紹介し、定量的・定性的に示された多くの情報は、デザインへ投資することの意義や効果を多様な視点から明らかにしています。全国各地において、デザインを用いたどのような取り組みが展開されているのか、デザインは経済や社会にどのような効果をもたらしているのかなどを取りまとめています。

<今後の予定>

今後は、デザイン白書 2024 の周知活動などを通じて、社会全体のデザインに関する理解浸透やデザイン活用を推進し、デザイン領域で活躍する人や組織とのより一層の連携を促し、日本のデザイン振興を通じた地域経済の活性化や国際競争力の強化、豊かな地域社会や日本独自の文化の形成に向けた活動に取り組んでまいります。

<デザイン白書 2024 (WHITE PAPER ON DESIGN 2024) について>

デザイン白書 2024 掲載ウェブページ：<https://www.jidp.or.jp/2024/06/04/wpd2024>

制作年月日：2024 年 3 月 29 日

ページ数：350 ページ (PDF)

監修：経済産業省デザイン政策室

制作・編集：株式会社三菱総合研究所 DESIGN × CREATIVE TEAM、株式会社アクシス

協力：一般社団法人デザインシップ

協力・発行：公益財団法人日本デザイン振興会

主な内容：

1. 世界×デザイン

「WDO 世界デザイン会議東京 2023」の議論・発表内容を掲載。社会人類学者のティム・インゴルド氏をはじめ世界各国・地域から約 60 名が登壇。「Design Beyond – あたらしい世界のためのデザイン」

のテーマで、地球環境問題やAIなどのテクノロジーの進展と私たち人間との関係性、これらを踏まえてデザインに何ができるのかを議論した。



2. 地域×デザイン

47 都道府県ごとに、最新のデザイン活動や主な事例、今後の展望や課題を掲載。

高知県

④ 地域×デザイン

地域一丸で取り組むソーシャルデザイン

高知県では、高知県産業振興センターを中心に、県中小企業と連携したデザイン活動が盛んに行われている。これは、県民の生活や産業振興に貢献し、地域経済を活性化させることにもつながっている。また、高知県民会館や高知県立美術館など、文化施設でのデザイン活動も盛んに行われている。高知県民会館では、地域デザインコンテストを開催し、県民のアイデアを募集している。高知県立美術館では、地域デザインコンテストを開催し、県民のアイデアを募集している。

高知県民会館では、地域デザインコンテストを開催し、県民のアイデアを募集している。高知県立美術館では、地域デザインコンテストを開催し、県民のアイデアを募集している。

高知県民会館では、地域デザインコンテストを開催し、県民のアイデアを募集している。高知県立美術館では、地域デザインコンテストを開催し、県民のアイデアを募集している。

高知県民会館では、地域デザインコンテストを開催し、県民のアイデアを募集している。高知県立美術館では、地域デザインコンテストを開催し、県民のアイデアを募集している。

3. 企業×デザイン

パナソニック、富士フイルム、ヤマハのほか、能作などの地域企業、GK デザイングループなどのデザイン事務所、多摩美術大学などの教育機関の取り組みを 37 事例掲載。

③ 企業×デザイン

コクヨ株式会社 クリエイティブ室 / YOHAK DESIGN STUDIO

現場の小さな取り組みを積み重ね、
デザイン経営を実践していく

「現場」を実践するオフィス
「THE GAMMA」

顧客接点の場としての「THE GAMMA」

その名の通り、社内各部署の社員が自由に利用できるオープンスペース。デスクや会議室、カフェや休憩スペース、展示スペースなど、様々な用途に対応できる。また、その取り組みを、社内に共有するために「THE GAMMA」をテーマにした社内報やポスターなどを制作している。また、社内に「THE GAMMA」をテーマにした展示スペースを設け、社員のアイデアや取り組みを紹介している。

また、社内に「THE GAMMA」をテーマにした展示スペースを設け、社員のアイデアや取り組みを紹介している。

現場を精進してつくるデザインチーム「YOHAK DESIGN STUDIO」

日本を代表する文具メーカーであるコクヨは、またオフィス家具会社。販売品は、オフィスデスクや椅子、照明器具など、多岐にわたる。社内には「YOHAK DESIGN STUDIO」というデザインチームがあり、社内の様々な場面で活躍している。このチームは、社内の様々な場面で活躍している。このチームは、社内の様々な場面で活躍している。

4. 行政×デザイン

デジタル庁、特許庁、環境省、北海道旭川市、長野県諏訪市など中央省庁や地方自治体の取り組みを 14 事例掲載。

④ 行政×デザイン

デジタル庁

行政サービスの質を
デザインで高める

Visit Japan Web

誰もが使えるために

誰もが使えるために、誰もが使いやすいデザインを追求している。また、誰もが使いやすいデザインを追求している。また、誰もが使いやすいデザインを追求している。

SERVICE DESIGN IN GOV.

サービスデザインとは、政府のサービスを提供する際に、ユーザーの体験を重視し、サービスの質を高めることを目指すデザインのことである。

サービスデザインとは、政府のサービスを提供する際に、ユーザーの体験を重視し、サービスの質を高めることを目指すデザインのことである。

<本件に関するお問い合わせ>

公益財団法人日本デザイン振興会 広報窓口

E-mail : press@jidp.or.jp
